

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **広報室**

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	活発な市民活動を促進する環境づくり
	取組みの方針	多様な地域主体と行政との協働促進

担当局 / 総務担当課名	広報室	広報課
連絡先	582-2236	

21年度計画

-3-(3)-

施策名 **市民参画と協働のための仕組みづくり**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	様々な政策課題について市民と直接対話し、市政への理解を深め、市民のまちづくりへの参画と協働を進めます。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	多様な地域主体と行政との協働促進

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度	目標値	
	年度	平成21年度			年度	平成25年度
タウンミーティング参加者数			計画	- 人	年度	
タウンミーティングを通じ、より多くの市民との対話を図るため参加者の増加に努めたいと考えます。	現状値	1796	実績	1,796 人	目標値	2200
			達成度	%		
意見交換、アンケート等による市民の意見の把握	年度		計画	-	年度	
意見交換、アンケート等による市民の意見を把握し、施策においての活用を図りたいと考えます。	現状値		実績	-	目標値	
			達成度	%		
	年度		計画		年度	
	現状値		実績		目標値	
			達成度	%		

コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	事業費	3,945 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)
		うち一般財源	3,945 千円	4,125 千円

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	B	「環境モデル都市」「北九州ブランドの構築」「子育て日本一を実感できるまちへ向けて」の3つのテーマでタウンミーティングを各1回、「環境モデル都市」をテーマに「地域ふれあいトーク」を4回開催。 タウンミーティングは「環境モデル都市」588人、「北九州ブランドの構築」230人、「子育て日本一を実感できるまちへ向けて」400人、地域ふれあいトークは「環境モデル都市」578人、総計1,796人の参加がありました。 意見交換を通じ、市民の市政への理解を深めることができたと考えます。
今後の局施策の方向性	市民のまちづくりへの参画や市民の協働を進めるために、政策決定における情報公開や率直なご意見を伺うことが重要であり、今後もタウンミーティング(対話集会)など様々な機会を通じ、政策課題について市民との意見交換を行うことにより、協働によるまちづくりに取り組みたいと考えています。 実施方法(テーマの選定方法、規模、回数、実施場所・時間等)の工夫やアンケートによる満足度の把握などにより、多くの市民に参加いただくとともに高い効果を得られるよう検討を進めたいと考えています。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

担当局/課	広報室	広報課
連絡先	582 - 2236	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	活発な市民活動を促進する環境づくり
	取組みの方針	多様な地域主体と行政との協働促進
	主要施策	市民参画と協働のための仕組みづくり

関連計画	
事業期間	平成20年度～
経費区分	特別経費(臨時)

-3-(3)-

事業名	タウンミーティング開催事業					
-----	---------------	--	--	--	--	--

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	様々な政策課題について、市民と直接対話し、市民と市との協働を進めることを目的に、タウンミーティング(対話集会)を開催します。				
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	市民参画と協働のための仕組みづくり	成果	タウンミーティング参加者数	意見交換、アンケート等による市民の意見の把握

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		当初計画	「自治基本条例」「環境モデル都市」「北九州ブランド創造」「子育て日本一を実感できるまちへ向けて」の4つのテーマについて実施。					
	現状	「環境モデル都市」「北九州ブランドの構築」「子育て日本一を実感できるまちへ向けて」の3つのテーマで各1回、「環境モデル都市」をテーマに「地域ふれあいトーク」を4回開催。	タウンミーティングを1回、地域ふれあいトークを10回開催。8月以降、タウンミーティングを1回、地域ふれあいトークを9回開催予定。					
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標	
	タウンミーティング開催回数				計画	- 回	年度	-
	様々な政策課題についてタウンミーティングを開催し、市民との対話の機会を設けます。				実績	7 回	内容	
	達成度					%		
タウンミーティング参加者数				計画	- 人	年度	-	
タウンミーティングを通じ、より多くの市民との対話を図るため参加者の増加に努めます。				実績	1,796 人	内容		
達成度					%			
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]				事業費	3,945 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
					うち一般財源	3,945 千円		4,125 千円
単年度計画	人件費には、各テーマ担当課係長の人件費を含む。							

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	「環境モデル都市」「北九州ブランドの構築」「子育て日本一を実感できるまちへ向けて」の3つのテーマでタウンミーティングを各1回、「環境モデル都市」をテーマに「地域ふれあいトーク」を4回開催。タウンミーティングは「環境モデル都市」588人、「北九州ブランドの構築」230人、「子育て日本一を実感できるまちへ向けて」400人、地域ふれあいトークは「環境モデル都市」578人、総計1,796人の参加がありました。
------	-------------------------------------	--

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	それぞれのテーマで、230人～588人、総計1,796人の参加があり、意見交換などを通じ、参加した市民が市政への理解を深めることができたと考えます。	
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4:高い 3:やや高い	3	実施方法(テーマの選定方法、規模、回数、実施場所・時間等)については、より効率的で多くの市民に参加いただけるよう検討の余地はあります。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2:やや低い 1:低い	4	基本的な計画等の策定においては、パブリックコメントに合わせて、タウンミーティングなどにより市民の意見を聞くことが重要であると考えます。また、策定した計画等については、速やかに市民に周知し、施策の推進に理解と協力を得る必要があると考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか。市の関与をなくすることはできないのか。		3	基本計画等の策定や、策定した計画の推進をテーマとしたタウンミーティングでは、市が実施主体となる必要があります。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	市民のまちづくりへの参画や市民の協働を進めるために、政策決定における情報公開や率直なご意見を伺うことが重要であり、今後もタウンミーティング(対話集会)など様々な機会を通じ、政策課題について市民との意見交換を行うことにより、協働によるまちづくりに取り組みたいと考えています。実施方法(テーマの選定方法、規模、回数、実施場所・時間等)の工夫やアンケートによる満足度の把握などにより、多くの市民に参加いただくとともに高い効果を得られるよう検討を進めたいと考えています。	